

保証書

この製品は、厳密な品質管理を經てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

GPS-1700LD

●保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL () -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL () -



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町443-4



MARUHAMA

GPS/VHF/UHF 帯受信機

ワイド液晶ディスプレイ搭載

X/K 2バンド高感度ソーラーレーダー探知機

GPS-1700LD

取扱説明書



GPS-1700LDをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

AMAZON
製品ページから
ダウンロードする
PDFの取扱説明書

PDFの取扱説明書




目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. ご使用の前に	3
3. 製品の構成	5
4. 主な特長	6
5. 各部の名称	10
6. 取付方法	11
1. 取付方法	11
2. 電源について	12
3. 太陽電池について	12
4. バッテリーローアラーム	13
5. オートパワーオフについて	13
6. 電池の寿命について	14
7. 電池の交換方法	15
7. 製品の使用	16
1. 本体の起動	16
2. 待機画面の表示モード	17
3. 待機画面の表示内容	18
8. 警告動作	20
1. GPS 測位機能の使用	20
2. GPS 機能の警告動作	21
3. レーダー受信機能の警告動作	27
4. 無線受信機能の警告動作	29
9. 機能の操作	33
1. 初期設定	33
2. 設定モードの操作	34
3. GPS 機能の操作	37
4. 無線受信機能の操作	39
5. レーダー受信機能の操作	40
6. その他の諸機能	41
7. 走行履歴の保存・再生機能	42
8. 給油ガイド機能	45
9. 消去モードの操作	46
10. 通過情報の表示	47
10. 故障とお考えになる前に	48
11. 主な仕様	49







1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を理解してから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。





■絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています(警告・注意)。
-  ⊘記号はしてはいけないことを表しています(禁止)。図の中の表示は禁止の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の表示は⊘です。
-  ●記号はしなければならないことを表しています(強制)。図の中の表示は強制の内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜く)を示し、一般の表示は●です。




人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ■本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ■車を運転中に本機を操作しないでください。
車の運転中に、本機の操作(画面の確認を含む)を行うことは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ■ケースは絶対に開けないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■スピードの出しすぎにご注意ください。
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
- 

けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと

-  ■衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ■高温時の取扱にご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。
-  ■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。
- 

機能上の制約

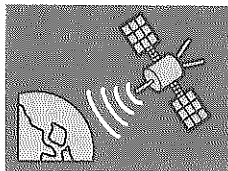
-  ■日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内となっております。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
-  ■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車(特に大型車)がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車での使用時も受信しにくい場合があります。
-  ■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

2. ご使用の前に

GPS 測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは地球の衛星軌道上にある人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。

本機ではこのシステムを利用して自車の走行状況を判断することで、あらかじめ登録されている速度取締機やNシステムなどへの接近などを警告します。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかつたループコイル式や光電管式の取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機や取締ポイントについても30ヶ所まで登録することが可能です。



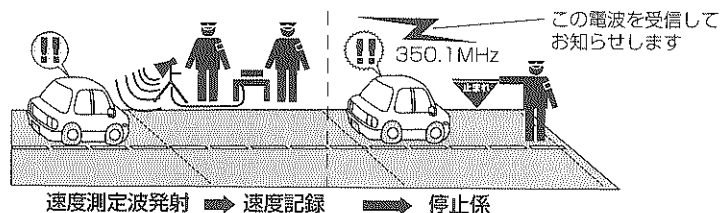
■Nシステム(自動車ナンバー自動読み取りシステム)とは

全ての走行車両を必要に応じてデジタルカメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読み取り装置です。

受信機について

速度取締連絡波(350.1MHz)・カーロケータシステム(無線自動車動態表示システム)電波・デジタル無線・署活系無線・特小無線・レッカー無線・ヘリテレ無線(警察/消防)・新救急無線・消防無線を受信し、音声と液晶表示で警告します。

■取締連絡波(350.1MHz)とは

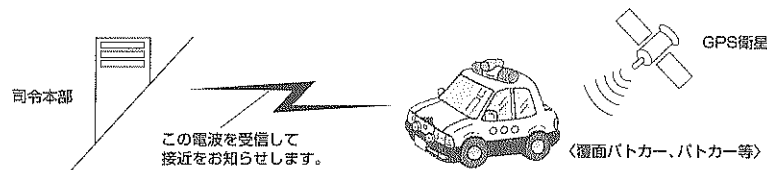


■取締特小無線とは

スピード違反などの取締現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われていることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合もあります。

■カーロケータシステムとは

GPSで算出した警察車両などの位置情報を無線で定期的(間欠)に司令本部に送信するシステムです。



■デジタル無線とは

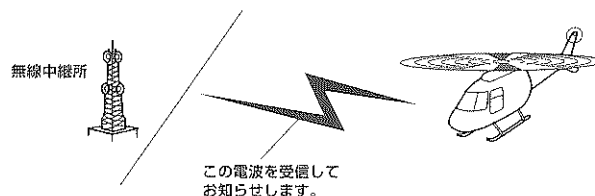
各都道府県警察本部と移動端末間で交信される時に使用されている電波のことで、移動端末から各都道府県本部へ送信する際に、160MHz帯の周波数が使用されています。

■署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察署との連絡に使用している無線です。

■ヘリテレ無線(警察ヘリテレ無線・消防ヘリテレ無線)とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで、事件・事故や取締等の時、上空と地上で連絡を取るために使われています。



■レッカー無線とは

レッカー業者が連絡用に使用している無線です。

■消防無線とは

消防車の消火活動や、消防署との連絡に使用している無線です。

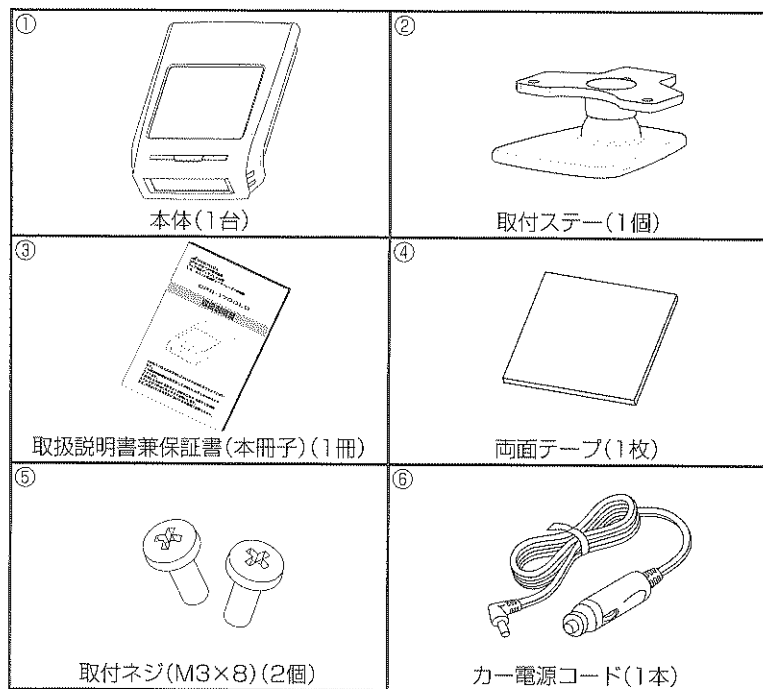
■新救急無線とは

救急車と消防本部の連絡用に使用される無線のうち、特定の地域で使用されている無線です。

3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- ① 本体..... 1台
- ② 取付ステー..... 1個
- ③ 取扱説明書兼保証書(本冊子)..... 1冊
- ④ 両面テープ..... 1枚
- ⑤ 取付ネジ(M3×8)..... 2個
- ⑥ カー電源コード..... 1本



4. 主な特長

■ワイド液晶ディスプレイ搭載(P17参照)

多彩な表示モードから表示内容(カレンダー表示・速度表示・加速度表示・コンパス表示・距離計など)を選択できます。

待機画面ではWHITE カラー、取締機などに接近した場合はBLUE カラーのバックライト表示をします。

※DC電源を接続しないで使用する場合、通常待機時にはバックライトは消灯します。

■ドライビング・サポート・インフォメーション(DSI)(P21参照)

豊富な音声ガイドとフルドット液晶で情報を表示、今までにない多彩な情報をアニメアイコンとイベントメッセージなどでわかりやすく表示します。待受け時にも、走行速度などを表示します。

■給油ガイド機能・休息ガイド機能を搭載(給油ガイド機能はP45参照・休息ガイド機能はP41参照)

走行距離や燃料消費を自動的に計算し、必要に応じて給油ガイドを行います。

また、連続走行が2時間継続すると休息ガイドを行います。

■走行履歴の保存機能(P42・43参照)

本機にあらかじめ登録されている取締機や、お客様が登録されたオリジナルポイントの通過前後の走行履歴(車速・位置情報など)を自動的に保存し、後で確認することができます。

また、任意の時点の走行履歴を手動で保存することもできます。

■電子ボリューム機能(P34・35参照)

音量の調節に電子ボリューム機能を搭載しています。

GPS 警告機能

■各種警告ガイド機能

メモリされている取締機への警告では、制限速度を音声と液晶表示でお知らせするとともに、走行速度の状況に応じたアナウンスと表示動作を行います。

また、取締機への距離も合わせて表示。通過時には通過速度を音声と液晶表示でお知らせします。

●**取締機** 全国のオービス(速度取締機)を約650箇所登録しています。(P21・22参照)

●**取締ポイント** よく速度取締りが行われているポイントを取締りポイントとして登録済み。(P24参照)

●**Nシステム(ナンバー自動読みとりシステム)** 約1600箇所登録しています。(P25参照)

●**SA・PA** 約800箇所登録しています。(P25参照)

全国のサービスエリア・パーキングエリアを登録済み。約2キロ手前で、併設されている給油所の営業情報も併せてお知らせします。

●**オリジナルポイント** 最大30箇所まで登録できます。(P23・37参照)

■オートマティック イノベーション システム(AIS)

走行状況を自動的に判断し、道路モード(オール・高速・一般)を自動的に切り替えます。従来の製品に必要なだった走行道路(一般道・高速道)の設定が必要なく、異なる道路種に設置された取締機に対して発生していた誤警報を防止します。

※走行場所・環境により、走行道路の種類を正しく判断できない場合があります。その場合は、自動的にオールモードに設定され、すべての取締機に対して警告を行います。

■GPS 警告の低速ボイスカット機能(P26・28・32・36参照)

メモリしてある取締機への接近時、設定された速度以下での低速走行や停車中の警告ボイスを自動的にカットします。

■最終通過速度確認機能(P38参照)

最後に通過した取締機またはオリジナルポイントでの通過速度を確認することができます。

無線受信機能

■速度取締現場の連絡無線(350.1MHz・特小無線)が受信可能(通話音声対応)(P31参照)

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

■カーロケーターシステム電波が受信可能(P29参照)

407MHz帯のカーロケ電波を受信できます。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

■デジタルロケーターシステム電波が受信可能(P29参照)

160MHz帯のデジタル無線を受信できます。

■ポリロケーターシステム電波が受信可能(P30参照)

UHF帯の警察署活系無線を受信できます。

■接近離反のお知らせ機能(カーロケ/デジタル無線はP29参照・署活系無線はP30参照)

カーロケ・デジタル・署活系無線については、発信車両の接近離反を判断しお知らせします。

■警察/消防ヘリテレ無線(通話音声対応)(P31参照)

ヘリコプターから無線中継所に送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

ただし、一部地域やヘリコプターにこのシステムが導入されていない場合があります。

■レッカー無線対応(通話音声対応)(P30参照)

レッカー移動の連絡などに使われる無線電波をキャッチしてお知らせします。

■新救急無線・消防無線対応

救急車や消防車から送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

■トラップゲートモード搭載(P32参照)

液晶表示と専用アラームで取締検問などの可能性が高いことをお知らせします。

■バスメモリ機能搭載(P39参照)

不要なチャンネルを記憶し、受信しないようにできます。

●注意

※カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線はデジタル化されており通話内容を聞くことはできません。

取締無線・特小無線・ヘリテレ無線・レッカー無線は通話音声に対応していますが、地域によってデジタル化されていたり、受信電波が弱い場合などには、通話内容を聞けない場合があります。

※レッカー無線は業務用無線の一種ですので、レッカー移動とは関係ない業務で使用されている無線をキャッチする場合があります。

※無線受信機能のうち、特小無線・警察/消防ヘリテレ無線・レッカー無線・新救急無線・消防無線はカー電源コードを使用しない状態では受信しません。

■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。

■4モード感度切替・オート感度切替機能(P18・27・35参照)

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況に合わせてレーダーの受信感度の切り替えができます。
またオート感度モードに設定すると、車速に応じて適切な感度に自動的に切り替わります。

■ステルス/新Hシステム対応(P27参照)

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。
※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応しているわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれご注意ください。

■ゴーストアラームカット(GAC)機能搭載(P28・40参照)

自動ドアによる誤動作など、レーダーの誤動作の発生位置を自動的に学習し、不要なアラーム音をカットします。自動登録のほか、手動登録も可能です。

■オートアラームカット(AAC)システム搭載(P26・28・32・36参照)

設定車速よりも低速で走行している時のレーダーアラーム音をカットします。

■オートミュート機能(P28参照)

一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。

その他

■太陽電池搭載(P12参照)

本機は太陽電池からニッケル水素電池に充電しますのでカー電源コード無しで使用できます。

■オートパワーオフ(P13参照)

約3分間振動がない状態が続くと次に振動を感知するまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。

■バッテリーローアラーム(P13参照)

電池が消耗すると音声でお知らせします。

■ミュート機能(P41参照)

警告音を一時的に消すことができます。

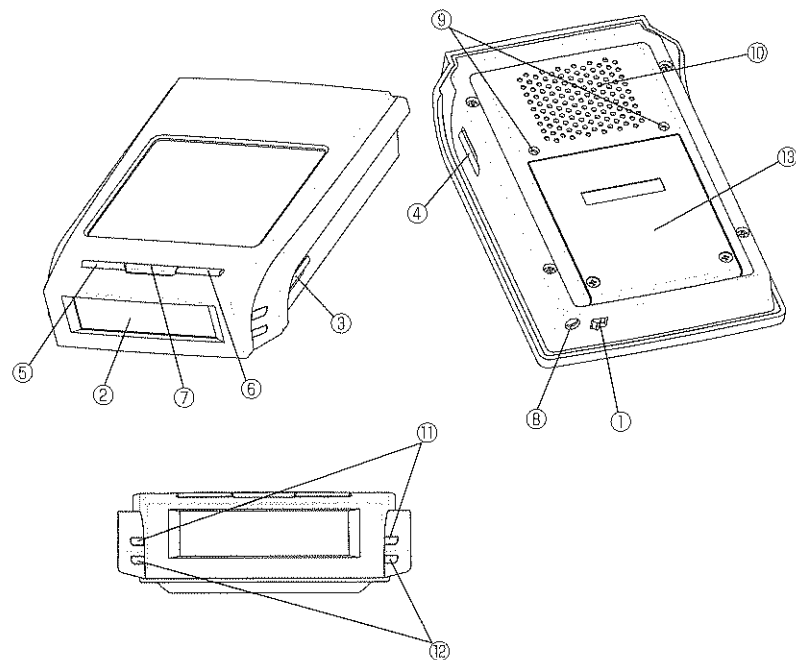
■ナイトディマー機能(P36参照)

夜間になるとバックライトとランプの光量を抑えます。

期 間	夜 間
2月～4月・8月～10月	18時～6時
5月～7月	19時～5時
11月～1月	17時～7時

5. 各部の名称

1. 本体部



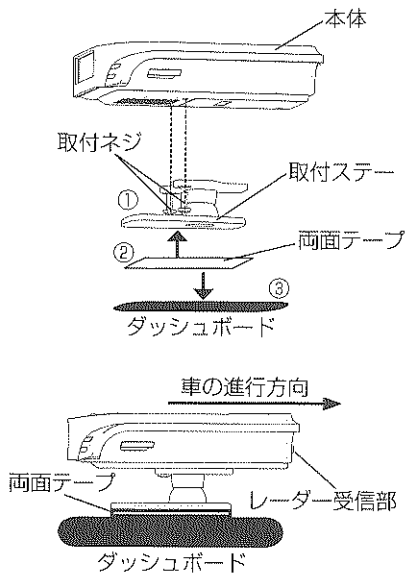
- ①電源スイッチ(POWER)…… 本体の電源をON/OFFします。
- ②液晶表示部…… 警告や状態表示を行います。
- ③MUTE/SPEED ボタン…… 警告のミュートやアラームテストを行います。
- ④MEMO/CLR ボタン…… オリジナルポイントを記録します。
- ⑤LEFT/REC ボタン…… 走行履歴の手動登録を行います。設定モードでも使用します。
- ⑥PLAY/RIGHT ボタン…… 走行履歴の表示を行います。設定モードでも使用します。
- ⑦ENT/FUEL ボタン…… 設定モードの呼び出し、変更などに使用します。
- ⑧電源ジャック…… 充電時などに付属のカー電源コードを接続します。
- ⑨取付ステー装着部…… 取付ステーを装着します。
- ⑩内蔵スピーカ…… 警告音声などを出力します。
- ⑪アラームランプ…… 警告時に点滅します。
- ⑫振動ランプ…… 振動の少ない状態を検出すると点灯(点滅)します。
- ⑬電池カバー

6. 取付方法

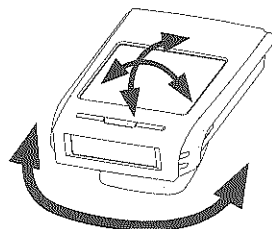
1. 取付方法

(1) ダッシュボードへの取付

- ① 付属の取付ステーを本体に取付し、同梱のネジで2箇所締め、しっかり固定します。
- ② 取付ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
- ③ 両面テープのもう一方でダッシュボードへ貼り付けます。この時、レーダー波受信部が車の進行方向を向くように取付ステーをダッシュボードへ貼り付けます。
- ④ 本体の角度を地面と水平になるように調整してください。



※矢印の方向に角度が調整できます。



注意

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けないでください。

警告

高温時の取り扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください

2. 電源について

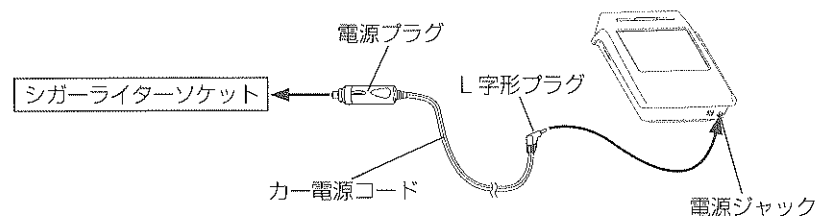
本機は太陽電池を使い、太陽光から内蔵のニッケル水素電池に充電して使用する製品です。

(1) ご使用になる前に

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください。
本機を使用しながら(電源ONの状態)充電することができます。

(2) カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより外部電源(車のアクセサリ電源)を本体に接続し、内蔵の電池に充電します。
カー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



注意

- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが停止していると充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

3. 太陽電池について

- 電源が入っていないなくても充電されます。
- 満充電後は全く充電されない状態で約60時間連続動作します(受信待受時)。
※受信機のON/OFFにより、連続動作時間は変化します。
- 太陽電池で十分な充電ができない場合はカー電源コードをご使用ください。

注意

- 夏季や冬季の駐車中では車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。そのため電池の充電時間が変化する場合があります。
- 雨天・曇天時や夜間などでは十分に充電することができません。
- 太陽電池全面に太陽光が当たらないと十分な充電ができません。

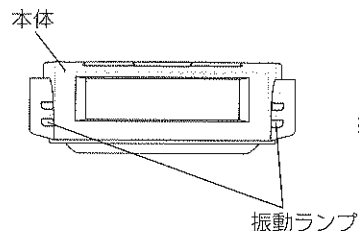
4. バッテリーローアラーム

電池が消耗し残量が少なくなると、GPS 機能を停止し音声でお知らせします。さらに電池が消耗しますと、全機能を停止し、ボタン操作を受け付けなくなります。その場合は、カー電源コードを使用して充電してください。

電池残量	音声ガイド
残量低下	" 充電してください。GPS を解除しました。" ※GPS 機能のみ停止します。レーダー受信機能・無線受信機能は引き続き使用することができますが、カー電源コードを使用して充電することをお奨めします。
使用不可	" 充電してください。" ※全ての機能が停止します。

5. オートパワーオフについて

本機内蔵の振動センサーにより、約3分間振動がない状況が続くと次に振動を感知するまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。振動の感知状況は振動ランプで確認できます。



※表中のDC 電源ありとは、カー電源コードを使用中のことを意味しています。

	振動ランプ	
	DC 電源あり	DC 電源なし
振動あり	消灯	消灯
振動なし	点灯	点滅

振動センサーの動作確認

- ① 車を走行させます
車を走行させて振動ランプが消灯することを確認してください。
- ② 走行速度を落します
低速走行またはアイドリング状態で振動ランプが消灯から点灯(又は点滅)に変わることを確認してください。
- ③ 停車します
停車してから約3分後にすべてのランプが消灯し自動的に動作停止することを確認してください。
- ④ 車を走行させます
車を走行させてから数秒後に動作を開始することを確認してください。
※①～④で正常に動作しない場合は" 振動センサーの感度設定"(P.36)に基づいて感度を切替えてください。
※①で車を走行させても振動ランプが消灯しないときは、振動センサーの感度を高く設定してください。
※②でアイドリング状態で振動ランプが点灯(又は点滅)しないときは、振動センサーの感度を低く設定してください。

注意

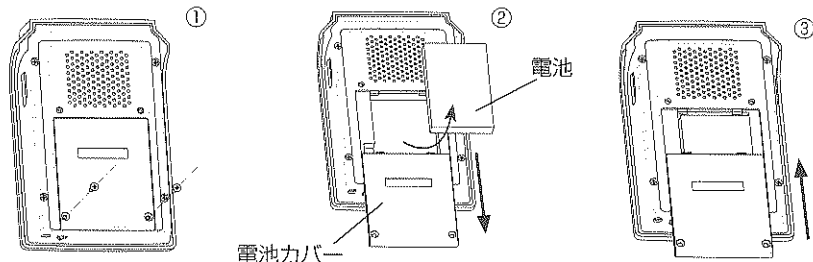
- 振動センサーの感度を低く設定するとオートパワーオフ機能により動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。
- 振動や騒音の激しい場所などではオートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は電源を切ってください。

6. 電池の寿命について

本体内蔵の電池は使用状況にもよりますが約3年が寿命です。十分に充電しても電池のみでは長時間作動しなくなった場合は、電池の寿命がきています。その場合は、付属のカー電源コードをご使用になることで通常通り動作させることができます。※電池を交換される場合は本体ごとお買い上げの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

7. 電池の交換方法

- ①ネジを2箇所外します。
- ②電池カバーをスライドさせながら外し、電池を出します。
電池カバーにはツメがついていますので注意してください。
- ③新しい電池を逆の手順で交換し、電池カバーをスライドさせながらしめてください。
そして、ネジを2箇所締めてください。



注意

- 本機は専用の電池を使用しています。安全のために専用電池以外は使用しないでください。新しい電池についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

7. 製品の使用

1. 本体の起動

電源が入ると、オープニング表示後、待機画面が表示されます。



本機は工場出荷時に初期設定しています。初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

工場出荷時の設定

工場出荷時点では、次のように設定されています。

設定項目	設定内容	参照ページ	種別
音量	7(最大)	P34・35	共通
表示モード	時計表示モード	P17・35	
AIS	オート切替モード	P18・20・35	GPS機能
レーダー感度	オート感度モード	P18・27・35	レーダー機能
取締無線	ON	P31	無線受信機能
カーロケ無線	ON	P29	
デジタル無線	ON	P29	
署活系無線	ON	P30	
特小無線	OFF	P31	
レッカー無線	OFF	P31	
警察ヘリテレ無線	OFF	P31	
消防ヘリテレ無線	OFF	P31	
新救急無線	OFF	P30	
消防無線	OFF	P30	
AAC(オートアラームカット)	ON・40キロ	P26・28・32・36	共通
Nシステム	ON	P25	GPS機能
SA/PA	ON	P25	
振動センサ感度	H(高感度)	P18・36	共通
燃費設定	未設定	P36	
タンク容量	未設定	P36	
昼間輝度	H(高輝度)	P36	共通
夜間輝度	H(高輝度)	P36	
オリジナルポイント	未登録	P37	GPS機能
GPSアラームカット	未登録	P38	
走行履歴	未登録	P19・42・43	
ゴーストアラームカットエリア	未登録	P40	レーダー機能
パスメモリー	未登録	P39	無線受信機能

注意

●各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

—— ちょっと一言 ——

・設定内容を初期化したいときは、消去モードから操作してください。
※詳しくはP46 参照

2. 待機画面の表示モード

待機画面では各種表示モードを選択することができます。

(1)表示モードの切替

待機画面の表示モードの切り替えは、設定モードで行います。(P34参照)

表示モード	待機画面の表示例	備考
時計表示モード		現在時刻と日付情報を表示します。
速度表示モード		走行速度をレベルゲージと数値で表示します。
加速度表示モード		加速・減速の状況をレベルゲージと数値で表示します。
コンパス表示モード		北方位を示すコンパスを表示します。
距離計モード1		起動してからの走行時間、走行距離を表示します。
距離計モード2		起動してからの走行距離、累積の走行距離を示す簡易トリップメータを表示します。

注意

- 時計表示、距離計モード1、距離計モード2以外の表示モードでは、GPS 測位できていないと情報を表示することができません。
- カー電源コードを使用していない時は、時計表示モード以外の表示モードを表示できません。自動的に時計表示モードとなります。

3. 待機画面の表示内容

待機画面では、表示モードで選択した表示内容のほかにも、主な設定状況やGPSの測位状況をアイコンで表示します。

(1)設定の表示内容



No	項目	状態	アイコン	機能
①	道路モードの設定 (P20・35参照)	オールモード		高速道・一般道のGPSポイントを警告します。
		高速モード		高速道路のGPSポイントだけを警告します。
		一般モード		一般道路のGPSポイントだけを警告します。
②	レーダー感度の設定 (P27・35参照)	エクストラモード		最高感度です。高速道路の走行などに適しています。
		ウルトラモード		↑ 高感度
		スーパーモード		↓ 低感度
		ノーマルモード		最低感度です。一般道・市街地などでの走行に適しています。
③	GPSの測位状況 (P26 参照)	測位中		GPSを測位中です。
		サーチ中		GPS測位できていません。この状態では、GPS機能は働きません。

No	項目	状態	アイコン	機能
④	走行履歴の保存/ 履歴ロックの設定 (P42・43参照)	走行履歴有り		走行履歴が保存されています。
		走行履歴無し		走行履歴は保存されていません。
		走行履歴のロック		走行履歴の上書きが禁止されています。
⑤	振動感度の 設定 (P36参照)	SH		振動センサーの感度が最高感度に設定されています。
		H		振動センサーの感度が高感度に設定されています。
		L		振動センサーの感度が低感度に設定されています。
		SL		振動センサーの感度が最低感度に設定されています。

※振動感度の設定は、オートパワーオフ機能に影響します。(P13参照)

(2)バックライト光量の設定

待機画面や設定モードでは液晶バックライトはWHITEカラーに点灯します。バックライトの光量は、昼間と夜間それぞれで3段階の設定から選択することができます。液晶バックライトの光量の切り替えは、設定モードで行います。(P34ページ参照)

注意

●カー電源コードを使用しない場合、待機状態ではバックライトは消灯します。

8. 警告動作

1. GPS測位機能の使用

エンジンを始動し、動作を開始したあとGPS測位が確定すると、「ポーン、GPSを測位しました」と音声で案内し、GPS測位が完了したことをお知らせします。

注意

●測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

警告の対象とする道路種

待機画面の道路モード表示により、警告対象の道路種の設定を表示します。走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モード設定を行ってください。
※設定方法はP34参照

道路モード	警告対象	道路モード表示
オールモード	全ての道路の設置ポイント	
高速モード	高速道路に設置されたポイントのみ	
一般モード	一般道路に設置されたポイントのみ	
オート切替モード	走行状態に応じて	

ちょっと一言

- 工場出荷状態では、道路モードはオート切替モードになっています。オート切替モードでは本機自身が走行状態を判断し、適切な道路モードを自動的に設定します。
- 道路種のオート切替機能は、走行条件やGPSの測位状況によっては正常に道路モードを設定できない場合があります。その場合自動的にオールモードが選択されますのですべてのポイントを警告対象として動作します。
※道路状況によりオート切替モード設定が正常に動作しない場合があります。この場合、任意の道路モードに変更して下さい。

2. GPS 機能の警告動作

本製品にあらかじめ登録されているプリセットポイント(取締機及び取締ポイント)と、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近するとアニメーションでお知らせします。

(1) 取締機に対する警告動作

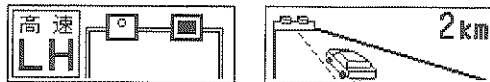
※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯し、アラームランプが点滅します。

警告動作

1 2km 手前

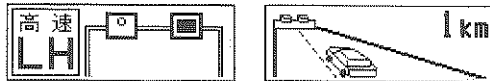
取締機の種類を示すアニメーションを表示して警告します。

警告例) "ポーン、高速道路、取締機に注意してください"



2 約1km 手前

取締機の種類を示すアニメーションを表示して警告します。

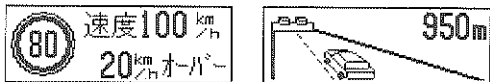


警告例) "ポーン、制限速度は80 キロ未満です。"

1 キロ先の高速道路、LH システムに注意してください"

3 1km~500m

取締機までの距離と制限速度情報をアニメーションで表示し、一定時間毎に警告します。また、AAC 動作中は警告しません。



警告例) "ポーン、速度オーバーです。"

LH システムに注意してください。"(速度オーバーで走行時)

"ポーン、安全速度です。"

LH システムに注意してください。"(制限速度未満で走行時)

4 500m 手前

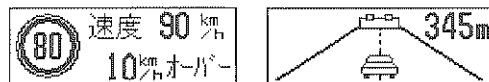
取締機の種類を示すアニメーションを表示して警告します。



警告例) "ポーン、500m 先の高速道路、LH システムに注意してください"

5 500m~200m

取締機までの距離と制限速度情報をアニメーションで表示し、一定時間毎に警告します。また、AAC 動作中は警告しません。



警告例) "ポーン、速度オーバーです。"

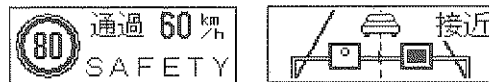
LH システムに注意してください。"(速度オーバーで走行時)

"ポーン、安全速度です。"

LH システムに注意してください。"(制限速度未満で走行時)

6 200m 手前

速度情報と接近アニメーションを表示し警告します。

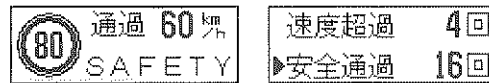


警告例) "危険です、危険です、危険です。..."(速度超過15km/h以上)

"注意してください、注意してください..."(速度超過15km/h未満)

7 ポイント通過

ポイント通過時の速度と通過回数を表示します。



警告例) "ポーン、通過速度は90 キロ未満です"

注意

- 取締機のイラストを表示し、累積のポイント通過状況を表示します。今回の通過状況は、画面左端の矢印で示されます。

ちょっと一言

- ・ポイント通過の累積は、本機にあらかじめ登録されている設置型取締機に対する通過時のみ加算されます。取締ポイントおよびオリジナルポイントの通過では加算されません。

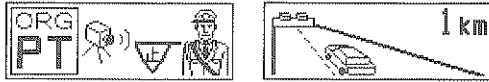
(2)オリジナルポイントに対する警告動作

※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯し、アラームランプが点滅します。

警告動作

① 約1km 手前

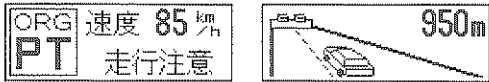
オリジナルポイントを示すアニメーションを表示して警告します。



警告例)" ポーン、1キロ先のオリジナルポイントに注意してください"

② 1km～500m

オリジナルポイントまでの距離と速度情報をアニメーションで表示し、一定時間毎に警告します。また、AAC 動作中は警告しません。



警告例)" ポーン、オリジナルポイントに注意してください"

③ 500m 手前

オリジナルポイントを示すアニメーションを表示して警告します。



警告例)" ポーン、500 m先のオリジナルポイントに注意してください"

④ 500m～200m 手前

オリジナルポイントまでの距離と速度情報をアニメーションで表示し、一定時間毎に警告します。また、AAC 動作中は警告しません。



警告例)" ポーン、オリジナルポイントに注意してください"

⑤ 200m 手前

速度情報と接近アニメーションで表示し警告します。



警告例)" 注意してください、注意してください..."

⑥ ポイント通過

ポイント通過時の速度を表示します。



警告例)" ポーン、通過速度は90 キロ未満です"

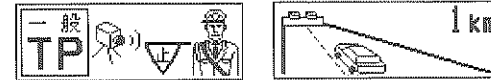
(3)取締ポイントに対する警告動作

※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯し、アラームランプが点滅します。

警告動作

① 約1km 手前

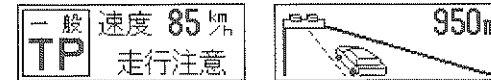
取締ポイントを示すアニメーションを表示して警告します。



警告例)" ポーン、一般道路、検問に注意してください"

② 1km～500m

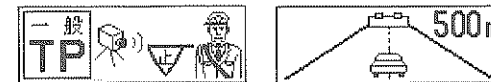
取締ポイントまでの距離と制限速度情報をアニメーションで表示し、一定時間毎に警告します。また、AAC 動作中は警告しません。



警告例)" ポーン、検問に注意してください"

③ 500m 手前

取締ポイントを示すアニメーションを表示して警告します。

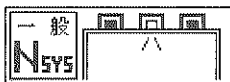


警告例)" ポーン、一般道路、検問に注意してください"

(4)N システムに対する告知動作

※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯します。

N システムへの接近を検出すると、アイコンとイラストを表示して告知します。



告知例)" ポーン、接近しました"

(5)SA/PA に対する告知動作

※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯します。

サービスエリア・パーキングエリアへの接近を検出すると、アイコンとイラストを表示して告知します。



告知例)" ポーン、接近しました"

SA/PA の告知時には、あわせてガソリンスタンドの設置・営業状況をアイコン表示でお知らせします。

ガソリンスタンドの設置・営業状況	アイコン表示
設置なし	
24時間営業	
営業時間内	
閉店時間	

注意

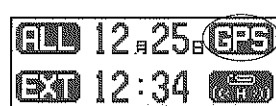
- ガソリンスタンドの設置状況や営業時間は変更されている場合があります。お知らせする情報は参考とし、正確な情報は道路の管理会社などから入手するようにしてください。
- 道路モードの選択に関わらず、設定機能でSA/PA の設定がOFF になっている場合、告知動作は行いません。

ちょっと一言

- ・連続2 時間以上走行している状態の場合、SA/PA の告知にあわせて音声での休息ガイドを行います。
ガイドボイス)" 休みませんか?"

注意

- 遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS 測位ができなくなった場合、測位できていないことを待機画面の表示と音声("GPS を測位できません")でお知らせします。
この場合GPS 警告を行うことはできませんのでご注意ください。



GPS の測位状況

測位中です

測位できていません

- 警告ボイスは、GPS の測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、横道に入り方向転換するなどして危険を回避した場合、警告動作を終了します。
- 本機ではレーダー受信よりもGPS 警告を優先します。このためGPS 警告中はGPS 警告の優先表示となり、レーダーの受信動作は行いません。

ちょっと一言

- ・距離の案内音声は、ポイントまでの距離に応じて"1 キロ以内"や"500m 以内"に変化します。
- ・道路種の音声案内は、ポイントに応じて" 高速道路"または" 一般道路"となります。
- ・取締機の場合は、警告ポイントの取締種別によって種別アイコンの内容と警告ボイスが変化します。
取締機の種類:LH システム・H システム・ループコイル式オービス
レーダー式オービス・NH システムなど
- ・通過速度の音声案内は、40 キロ未満から150 キロ以上まで10 キロ刻みでお知らせします。
- ・トンネル直後に設置されている取締機についてはトンネル進入前にお知らせします。
警告例)" ポーン、トンネル出口の一般道路、H システムに注意してください"
- ・GPS 警告中の車の走行速度がAAC 設定車速よりも低い場合は、一定時間毎の警告ボイスを自動的にカットします。

3. レーダー受信機能の警告動作

(1) レーダー受信動作

※警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯し、アラームランプが点滅します。速度取締レーダー波を受信すると、液晶表示と警告アラームでレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音及びレベルの表示メータが変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波受信時
液晶画面		
アラーム音	電波が強いほど、アラーム音の鳴る間隔が短くなります。	ステルス専用音声とアラームで警告します。 音声*ステルスをキャッチしました*

(2) レーダー受信感度の切替

レーダー感度は、走行状況に応じて自動的にレーダー感度が切り替わるオート感度切替モードと、4段階の中から任意の感度に設定して使用するマニュアル感度モードから選択することができます。

動作モード	選択感度	備考
オート感度モード	エクストラ/ウルトラ スーパー/ノーマル	走行状況を判断し、自動的に適切な感度に設定します
マニュアル感度モード	エクストラモード	
	ウルトラモード	
	スーパーモード	
	ノーマルモード	

ちょっと一言

- ・オート感度モードでGPS が測位できない場合は、自動的に最高感度のエクストラモードに選択されます。

注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

■オートミュート機能

レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

■オートアラームカット(AAC)システム

- ・設定速度以下での低速走行時にはレーダーアラーム音をカットします。
- ・設定速度は、40 キロ・50 キロ・60 キロから選択することができます。
- ・AAC 動作中は、レベルメータ表示部にAACと表示されます。



ちょっと一言

- ・AAC の設定がOFF の場合は、AAC は機能せず低速走行時でもアラーム音を出力します。
- ・GPS 測位できていない場合、アラーム音はAAC の設定に関わらず出力されます。

■ゴーストアラームカット(GAC)機能

- ・GPS 機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤受信の発生位置を自動的に記憶することで、不要なアラーム動作を排除します。
- ※登録時には、「ポーン、不要な電波を消去しました」と音声でお知らせします。
- ・GAC エリアでのレーダー受信時のアラーム出力を停止します。
- ・GAC 動作中は、レベルメータ表示部にGACと表示されます。



- ・自動登録の他にも手動で登録することができます。(P40 参照)

ちょっと一言

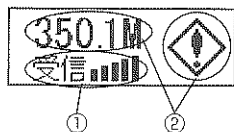
- ・設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってGAC エリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作(P40 参照)を行ってください。
- ・自動的に登録されたGAC エリアで、30 日以上レーダー波を受信しなかった場合、いったん消去されます。手動で登録されたエリアは自動消去されません。(P40 参照)
- ・GPS の測位状況によっては、GAC エリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

4. 無線受信機能の警告動作

VHF・UHF 帯を使用している警察・取締および緊急車両関連の電波を受信し、音声と液晶表示画面で警告します。

- ・音声で受信した電波の種類をアナウンスします。
- ・一部の受信バンドについては、会話の内容を聞くことができます。
- ・受信バンドごとに、設定をON/OFF することができます。※P35 参照
- ・警告時にはバックライトがBLUE カラーに点灯し、アラームランプが点滅します。







<受信画面の例>



- ①: 受信レベルメータ
キャッチした電波の強度を表示します。
- ②: 受信バンド表示
受信した電波の種類と状況に応じた画面を表示します。




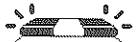


(1) カーロケ無線の受信

・受信状況に応じて、液晶表示とガイド音声でお知らせします。

受信内容	ガイド音声	液晶表示例
初回受信	♪カーロケをキャッチしました	カーロケ 受信  
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	カーロケ 接近  
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	カーロケ 離反  







(2) デジタル無線の受信

・受信状況に応じて、液晶表示とガイド音声でお知らせします。

受信内容	ガイド音声	液晶表示例
初回受信	♪デジタル無線をキャッチしました	デジタル 受信  
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	デジタル 接近  
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	デジタル 離反  

(3) 署活系無線の受信

・受信状況に応じて、液晶表示とガイド音声でお知らせします。





受信内容	ガイド音声	液晶表示例
初回受信	♪署活系無線をキャッチしました	署活系 受信  
接近	♪緊急車両が接近しました 注意してください	署活系 接近  
離反	♪緊急車両が遠ざかりました	署活系 離反  

注意

- カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線はデジタル化されています。受信しても通話内容を聞くことはできません。
- カーロケターシステムが配備されていない地域や緊急車両もあります。また、配備されている場合でも常に電波をだしているとは限りませんので、緊急車両が接近してもお知らせできない場合があります。

(4) 新救急無線・消防無線の受信

・受信した電波の種類に応じて液晶表示とガイド音声でお知らせします。





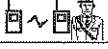
受信内容	ガイド音声	液晶表示例
新救急無線	♪緊急車両をキャッチしました	新救急 受信  
消防無線	♪緊急車両をキャッチしました	消防 受信  

注意

- 新救急無線・消防無線は、カー電源コードを使用しない状態では受信しません。

(5) 取締無線・特小無線・警察ヘリテレ無線・消防ヘリテレ無線・レッカー無線の受信

- ・受信した電波の種類に応じて液晶画面を表示します。
- ・交信の受信音声聞くことができます。
- ・電波の受信が途切れた後に、ガイド音声で受信した電波の種類をお知らせします。

受信内容	ガイド音声	液晶表示例
取締無線 (350.1MHz)	♪取締無線をキャッチしました	350.1M 受信   
特小無線 (422MHz帯)	♪取締無線をキャッチしました	特 小 受信   
警察ヘリテレ無線	♪ヘリテレ無線をキャッチしました	警察ヘリ 受信   
消防ヘリテレ無線	♪ヘリテレ無線をキャッチしました	消防ヘリ 受信   
レッカー無線	♪取締無線をキャッチしました	レッカー 受信   

注意

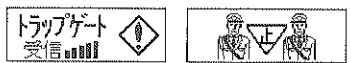
- 特小無線・警察／消防ヘリテレ無線・レッカー無線は、カー電源コードを使用しない状態では受信しません。

—— ちょっと一言 ——

- ・各受信バンドは、地域によりデジタル化されている場合があります。その場合、受信しても通話内容を聞くことはできません。
- ・通信の交信時間が短い、あるいは電波状況が悪いなどの状況により交信の受信音声充分聞き取れない場合があります。
- ・レッカー無線は一般の業務用無線の割り当ての一部ですので、レッカー移動以外での交信を受信する場合があります。

(6) トラップゲートモード

- ・複数の警察関連無線を受信した場合、取締検問の可能性が高いと判断し、液晶表示とガイド音声でお知らせします。

ガイド音声	液晶表示例
♪検問に注意してください 危険です	

注意

- トラップゲートアラームが鳴らなくても取締が行われている場合がありますのでご注意ください。

■オートアラームカット(AAC)システム

- ・停車中にはガイド音声をカットします。
- ・AAC 動作中は、レベルメータ表示部にAAC と表示されます。



—— ちょっと一言 ——

- ・AAC の設定がOFF の場合は、AAC は機能せず停車中でもガイド音声を出力します。
- ・GPS 測位できていない場合、アラーム音はAAC の設定に関わらず出力されます。

9. 機能の操作

1. 初期設定

次のように設定されています。

設定項目	設定内容	参照ページ	種別
音量	7(最大)	P34・35	共通
表示モード	時計表示モード	P17・35	
AIS	オート切替モード	P18・20・35	GPS 機能
レーダー感度	オート感度モード	P18・27・35	レーダー機能
取締無線	ON	P31	無線受信機能
カーaoke無線	ON	P29	
デジタル無線	ON	P29	
醫活系無線	ON	P30	
特小無線	OFF	P31	
レッカー無線	OFF	P31	
警察ヘリテレ無線	OFF	P31	
消防ヘリテレ無線	OFF	P31	
新救急無線	OFF	P30	
消防無線	OFF	P30	
AAC(オートアラームカット)	ON・40キロ	P26・28・32・36	
Nシステム	ON	P25	GPS 機能
SA/PA	ON	P25	
振動センサ感度	H(高感度)	P18・36	共通
燃費設定	未設定	P36	
タンク容量	未設定	P36	
昼間輝度	H(高輝度)	P36	共通
夜間輝度	H(高輝度)	P36	

2. 設定モードの操作

各種機能の設定は、LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタン、ENT/FUEL ボタンを操作し設定モードの中で変更します。

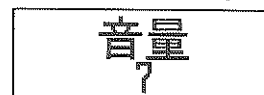
(1) 設定モードの呼出し

ENT/FUEL ボタンを押すと設定モードに入ります。

(2) 設定項目と設定内容の変更操作

“設定モード”と表示された後、音量設定の画面が表示されます。

設定モードの表示例



画面上面: 設定項目の表示

画面下面: 設定内容の表示

ENT/FUEL ボタンで設定したい項目を選び、LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタンで内容を変更します。

(3) 設定モードの終了

設定モードは、再度ENT/FUEL ボタンを1秒長く押しと終了します。

ちょっと一言

- ・設定モードに入った状態で、30秒間何も操作しないしていると自動的に設定モードを終了します。
- ・設定内容の変更は、LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタンで設定内容を切り替えた時点で確定しメモリされます。

注意

- 設定モードに入った状態では、一切の警告アラーム動作などを行いません。
- お車を運転しながらの設定操作は大変危険です。安全のため、お車を安全な場所に停車した状態で操作するようにしてください。

(4)設定モードの操作・表示内容

設定モードでは次の順序で設定項目を表示します。

設定項目	液晶表示 (設定内容)	設定内容 LEFT・RIGHT ボタンで変更
ETC ボタンで切替	音量	7(最大) 音量を8段階(0~7)に調整できます
表示モード	CL	時計表示モード
	SP	速度表示モード
	AC	加速度表示モード
	CO	コンパス表示モード
	D1	距離計モード1
道路モード	D2	距離計モード2
	AT	オート切替モード:道路モードを自動的に切り替えます
	AL	オールモード:全てのポイントを警告します
	HW	高速モード:高速道路のポイントを警告します
レーダー感度	CI	一般モード:一般道路のポイントを警告します
	AT	オート感度モード:レーダー感度を自動的に切り替えます
	EX	エクストラモード
	UL	ウルトラモード
	SU	スーパーモード
無線受信機能	NO	ノーマルモード
	ON	選択中の受信バンドを受信します
	OFF	選択中の受信バンドは受信しません
	※次の順序で設定します。 ・取締無線 ・カーロケ無線 ・デジタル無線 ・署活系無線 ・特小無線 ・レッカー無線 ・警察ヘリテレ無線 ・消防ヘリテレ無線 ・新救急無線 ・消防無線	

設定項目	液晶表示 (設定内容)	設定内容 LEFT・RIGHT ボタンで変更	
AAC	60k	時速60km/h未滿で、アラームカット動作します	
	50k	時速50km/h未滿で、アラームカット動作します	
	40k	時速40km/h未滿で、アラームカット動作します	
	OFF	アラームカット動作は行いません	
GPS 機能	ON	ポイントへの接近をお知らせします	
	OFF	ポイントへの接近はお知らせしません	
※次の順序で設定します。 ・Nシステム ・SA/PA			
振動感度	SH	最高感度	
	H	高感度	
	L	低感度	
	SL	最低感度	
燃費	LEFT ボタン:減 / RIGHT ボタン:増		
タンク容量	LEFT ボタン:減 / RIGHT ボタン:増		
給油後の 走行状況の表示	表示のみ 残り燃料・可走距離		
輝度(昼間)	H	高輝度	日中のバックライトの輝度
	M	中輝度	
	L	低輝度	
輝度(夜間)	H	高輝度	夜間(ナイトディマー時)のバックライト の輝度
	M	中輝度	
	L	低輝度	

※ナイトディマー機能

夜間になるとバックライトとランプの光量を抑えます。

期 間	夜 間
2月~4月・8月~10月	18時~6時
5月~7月	19時~5時
11月~1月	17時~7時

3. GPS 機能の操作

(1) オリジナルポイントの登録・消去

新しく設置された取締機やよく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30箇所までオリジナルポイントとして登録することができます。

登録方法

① MEMO/CLR ボタンを短く押します。

待ち受け画面を表示し、“ボーン”と音声でお知らせします。

衛星サーチ中

② オリジナルポイントを登録します。

測位した位置をオリジナルポイントに登録します。GPSの測位状況によっては時間がかかる場合があります。

- ・登録完了時は、音声で“オリジナルポイントを設定しました”とお知らせします。
- ・GPS測位が完了しなかった場合は、登録失敗となり、“GPS測位できません”と音声でお知らせします。
- ・登録数が30箇所を越えた場合は、登録失敗となり音声で“設定できません”とお知らせします。

③ 待機画面に戻ります

登録したポイントは、次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

個別消去

① オリジナルポイントのGPS警告中に、MEMO/CLR ボタンを長く押します。

② ポイントデータを消去します。

“消去しました”と音声でお知らせします。

ご注意

- オリジナルポイントは最大30箇所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。
- オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。また、全てのオリジナルポイントを一括消去することもできます。※P46参照

(2) GPS アラームカットの登録・消去

取締機・取締ポイント・NシステムのGPS警告は、GPSアラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。

頻繁に走行するなど、よくわかっている場合に使用します。

※登録を行った場合でも、液晶による警告表示は通常どおり行います。

登録方法

① GPS警告中に、MEMO/CLR ボタンを長く押します。

取締機・取締ポイントまたはNシステムのGPS警告中に操作します。

② GPSアラームカット登録を行います。

音声で“設定しました”とお知らせします。

消去方法

GPSアラームカット登録を解除するには、GPSアラームカット動作中に再度MEMO/CLRボタンを長く押します。操作後、“解除しました”と音声をお知らせした後、通常通りの音声警告を再開します。

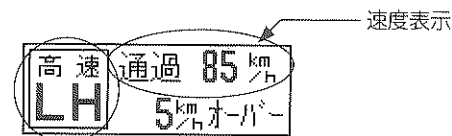
(3) 通過速度の参照

取締機またはオリジナルポイントに対するGPS警告で告知した通過速度は、後で参照することができます。

① 本体のMUTE/SPEED ボタンを長く押します。

② 直前の取締機通過速度を、音声と液晶表示でお知らせします。

例) 通過速度は90キロ未満です”



通過したポイントの種類
(取締機、オリジナルポイント)

ちょっと一言

・動作開始後、通過履歴のない場合はお知らせできません。
通過速度の履歴は、電源を切ると消去されます。

4. 無線受信機能の操作

(1) バスメモリの登録

受信するチャンネルの中には、地域によっては制御用あるいは中継用などとして常時電波を発信しているものがあります。そのような場合に頻繁に受信してしまう任意のチャンネルをバスメモリとして登録し、スキャンの対象外とすることができます。これにより不要なチャンネルの受信警告を防ぎ、効率的かつ実用的な受信検出が可能になります。

登録方法

- 1 頻繁に受信してしまうチャンネルを受信してから、MUTE/SPEED ボタンを長く押しします。

受信したチャンネルをバスメモリに登録します。
登録が完了すると、音声で"バスメモリを設定しました。"とお知らせします。

※受信していない状態では、上記の操作を行うことができません。
音声で"バスメモリを設定出来ません。"とお知らせします。

- 2 受信スキャンを再開します。
登録したチャンネルは以後受信しません。

消去方法

バスメモリの消去は、消去モードで行います。 ※P46 参照
※バスメモリに登録した受信チャンネルは一つずつ消去することはできません。

ご注意

- 取締無線とカーロケ無線については、バスメモリ登録できません。
- 無線受信機能のうち、警察/消防ヘリテレ無線・レッカー無線・新救急無線・消防無線はカー電源コードを使用しない状態では受信しません。
- 警告の必要がない場合は、設定モードで機能をオフしてください。 ※P34 参照

5. レーダー受信機能の操作

(1) ゴーストアラームカット(GAC)エリアの手動登録・消去

自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を登録できます。
GAC エリアとして登録された場所では、レーダー受信時のアラーム音を停止します。
GAC 動作中は液晶表示のレベルメータ部分に「GAC」と表示されます。

登録方法

- 1 レーダー受信中に本体のMEMO/CLR ボタンを長く押しします。
一旦待ち受け画面を表示し、"ポーン"と音声でお知らせします。
- 衛星サーチ中
- 2 現在位置周辺をGAC エリアとして登録します。
現在位置を中心として一定範囲をGAC エリアとして登録します。
登録完了時には、"不要な電波を消去しました"と音声でお知らせします。
測位できず登録できなかった場合、"GPS 測位できません"とお知らせします。

消去方法(個別消去)

- 1 GAC 動作中にMEMO/CLR ボタンを長く押しします。
- 2 GAC エリアを消去します。
音声で"解除しました"とお知らせし、通常のアラーム警告が行われます。

ご注意

- GPS の測位状況によっては、GAC エリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

6. その他の諸機能

(1) アラームテスト機能

待機時に本体のMUTE/SPEED ボタンを短く押すと、本機のアラーム警告のテスト動作を行うことができます。
音量の確認などに使用します。

(2) 休息ガイド

連続使用が2時間継続したとき、ガイドボイスで休息をおすすめします。
休息ガイドをお知らせしたあと、サービスエリアやパーキングエリアに接近した際にもお知らせします。
例) "ピンポン、そろそろ2時間になります。休みませんか?"

(3) ミュート機能

GPS警告中、レーダー警告中、無線受信警告中に、不要な警告音を手動で消すことができます。

- ① 警告動作中にMUTE/SPEED ボタンを短く押します。
ミュート機能が働いて警告音が止まります。
- ② ミュート機能の動作中に再度MUTE/SPEED ボタンを短く押します。
ミュート機能が解除され警告音が鳴ります。

7. 走行履歴の保存・再生機能

走行速度・時刻などの走行履歴情報を保存することができます。
本機にあらかじめ登録されている取締機や、お客様が登録されたオリジナルポイントの通過前後の走行履歴または任意の走行地点前後の走行履歴を保存します。

保存された走行履歴は、後で液晶画面で表示し確認することができます。
保存した内容は、本機の電源を切っても記憶されています。
また、保存した内容が不意に上書きされるなどして消えてしまうのを防止する"LOCK"機能もあります。

(1) 自動保存の方法

本機にあらかじめ登録されている取締機やお客様が登録されたオリジナルポイントを警告・通過するたびに、自動的に保存します。
保存時、特に表示などは行いません。
LOCK機能で上書き禁止に設定されていない場合、保存内容は新たなGPS警告のたびに上書き更新されます。

(2) 手動保存の方法

LEFT/REG ボタンを短く押すと、操作前後計30秒間の走行履歴を保存します。
履歴の保存が終了するまでの約10秒間、液晶画面では保存状況の画面を表示します。
LOCK機能で上書き禁止に設定されている場合は、保存を行いません。

注意

- 本機能は、カー電源コードを接続した状態でのみ機能します。内蔵電源のみで使用している場合は、自動保存・手動保存とも保存機能が働きません。

ちょっと一言

・履歴の保存は1件のみ可能です。
登録された保存内容は次回の登録時に上書きされ消えてしまいます。
自動登録・手動登録に関わらず、保存した履歴を残したい場合は履歴のロック操作を行い、上書きを禁止してください。

(3)保存した履歴内容の再生

① PLAY/RIGHT ボタンを短く押します。

② 液晶画面に、基準時刻(データNo.0)での走行速度が表示されます。

※自動保存の場合は取締機の通過時点、手動保存の場合はボタン操作直後がそれぞれ基準時刻になります。

③ ENT/FUEL ボタン、LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタンを操作し、前後のデータや他の項目の保存内容を表示します。

LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタンを押すと、前後の時刻の情報を表示します。

基準時刻の前約20秒～後約10秒の情報を確認することができます。

ENT/FUEL ボタンを押すと、同じ時刻のその他の情報項目を表示します。

走行速度・進行方向	時刻・年月日	位置(緯度経度)
履歴 COMPASS  N +10 SPEED 135 km/h	履歴 '06.12.25日 +10 13:47:29	履歴 N 35°47'29" +10 E 135°47'29"

④ ENT/FUEL ボタンを長く押すと履歴の再生モードを終了します。

※操作を行わないで15秒経過したときも、再生モードを終了します。

注意

●履歴が保存されていないと、再生モードに入ることはできません。

(4)LOCK 機能

LOCK 操作

保存した走行履歴内容を保護し、上書きを禁止することができます。保存した走行履歴を誤って消去したくない場合に使用します。

① PLAY/RIGHT ボタンを長く押します。

② 上書き禁止を設定し、鍵マークのイラストで表示します。

※保存がない場合、鍵マークは出ません。

LOCK 解除

LOCK 機能を解除し、走行履歴の上書きを許可します。

① PLAY/RIGHT ボタンを長く押します。

② 上書き禁止を解除します。

(5)履歴の消去

自動および手動で保存した走行履歴の消去は、消去モードで行います。

※P46 参照

8. 給油ガイド機能

走行距離を自動計算し、給油が必要な状態をお知らせする機能です。
残りの燃料で走行可能な距離を自動的に計算し、走行可能距離が100キロ未満になったときお知らせします。

※機能を有効に活用するために、それまでの実績にもとづいてお車の燃費とタンクの容量をあらかじめ登録しておく必要があります。

燃費とタンク容量の登録は設定モードで行います。※P34 参照

①給油の満タン登録

- 1 燃料を満タンに給油し、ENT/FUEL ボタンを長く押しします。
可走距離および燃料の使用量をリセットします。

ちょっと一言

- ・登録を行っていない項目は、表示のときにハイフン(-)で表示されます。
- ・満タン給油でない場合、残りの燃料の量を正確に検出できず正常に給油ガイドを行えない場合があります。

(1)給油のお知らせガイド

残りの燃料で走行できる距離(可走距離)が100キロ未満になった時点でお知らせします。以後10キロ間隔で告知します。

注意

- 表示される距離・燃料情報および給油のお知らせガイドはあくまで目安です。走行状況やGPSの測位状況によっては誤差が大きくなる場合があります。早めの給油確認を心がけてください。

(2)登録・保存内容の消去

消去モードから、給油ガイドの登録内容を消去することができます。
消去方法は消去モードの操作をご覧ください。※P46 参照

9. 消去モードの操作

各種設定内容を設定項目ごと、あるいは一括して初期化することができます。

消去方法

- 1 MEMO/CLR ボタンを押しながら電源をONにします。
消去モードに入ります。
- 2 LEFT/REC ボタン・PLAY/RIGHT ボタンで消去内容を確認します。
操作毎に、消去内容を表示します。
※この時点では、まだ消去はされません。

消去モードの内容は次のとおりです。

初期化項目	初期化内容の説明
オリジナルポイント	オリジナルポイントをすべて消去します
GPSアラームカット	GPSポイントのアラームカットを全て解除します
走行履歴情報	走行履歴エリアの内容を消去します
ゴーストアラームカット	ゴーストアラームカットエリアをすべて消去します
給油・車情報ガイド	給油情報・走行距離とお車の情報を消去します
パスメモリ	無線受信機能のパスメモリを初期化します
オールクリア	すべてのメモリ内容を初期化し、工場出荷状態にします

- 3 消去内容を選択し、ENT/FUEL ボタンを長く押しします。
消去動作を行い、音声で“消去しました。”とお知らせした後、自動的に再起動します。

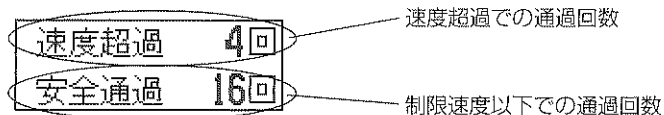
ご注意

- ENT/FUEL ボタンを短く押した場合は消去動作を行わず、自動的に再起動します。
- 消去モードに入った状態で、15秒間何も操作しないしていると消去動作を行わず、自動的に再起動します。

10. 通過情報の表示

お客様の取締機通過回数を表示します。

ⓘ MUTE/SPEED ボタンを押しながら電源をONにします。



15 秒間何もしていない状態、もしくはENT ボタンを押すと、その時点でオープニング表示後、待機画面に戻ります。

注意

●通過情報の初期化はできません。

10. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	●本体の電池が消耗していませんか。カー電源コードを使用してください(P12)
受信しない (音が出ない)	●設定音量が低い(P34) ●受信感度設定がノーマルで電波の弱い場所にいる(P27) ●AAC が働いている(P28・P32) ●GPS 測位していない ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がはいっていない
GPS 警告をしない	●GPS を測位していない ●新規に設置されたオービスである
取締以外で警告がでる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器が影響している場合があります
取締現場で連絡無線が受信できない	●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません
充電ができない	●太陽光が十分でない →カー電源コードで充電できるか確認してください ●カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください ●電池の寿命 →カー電源コードで使用してください(P12)

11. 主な仕様

◇GPS 受信部

- 受信周波数…………… 1.57542GHz
- 受信方式…………… 12ch パラレル受信方式
- データ最大登録数…………… 10,000 箇所
- オービス登録地点…………… 約650 箇所
- 取締ポイント…………… 登録済み
- オリジナルポイント…………… 最大30 箇所
- Nシステム…………… 約1600 箇所
- SA/PA…………… 約800 箇所

◇レーダー受信部

- 受信周波数…………… X/Kバンド
- 受信方式…………… ダブルスーパーヘテロダイナ

◇無線受信部

- 受信周波数帯…………… UHF 帯/VHF 帯
- 受信方式…………… ダブルスーパーヘテロダイナ

◇外観・一般

- 電源電圧…………… 本体 DC12V
- 動作温度範囲…………… -10℃~+60℃
- 外形寸法…………… 本体 78(W)×26.5(H)×113(D)mm
- 重量…………… 本体 160 g(コード除く)

●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
 - (ニ)保証書のご提示がない場合。
 - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- 保証期間中は：保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは：お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687